

落書き・汚れ除去塗料

ケミッゾー

らくらくクリーンシステム



Man Tech & Future

川上塗料株式会社

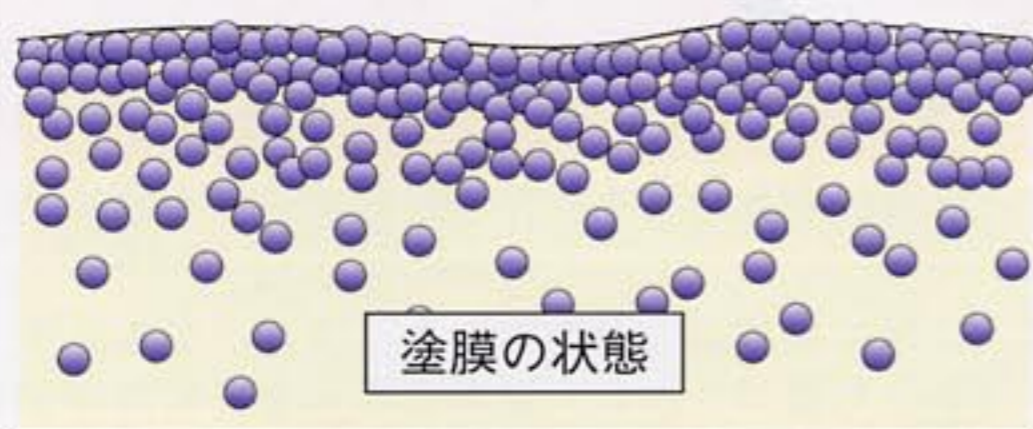
ケシゾー

らくらくクリーンシステム

ケシゾーは塗装しておくだけで、スプレーや油性ペンで書かれた落書きや汚れを専用溶剤で簡単に落とすことが出来る落書き・汚れ除去塗料です。

特徴

1. スプレーや油性ペンでの落書きが簡単に除去できます
付着した落書き・汚れは専用除去液でらくらくクリーン
2. すり傷がつきにくく、長期間美観を保ちます
3. 耐候性に優れているため、除去効果が長持ちします



●セラミック成分

塗膜表面には撥油機能をもった、セラミック成分（シリコン化合物）がより多く集まるため、塗膜が硬く、さらに撥油効果も高まります。

用途

1. 建物の外壁、壁、塀
2. 地下道・トンネルの内壁
3. 公共施設、公園、橋



地下道モルタル面の保護クリヤー

製品仕様

		容量 (kg)	
ケシゾークリヤー	主 剤	10	3
ケシゾー	硬化剤	2	0.6
ケシゾー	セット	12	3.6
ケシゾー	洗浄用除去液	15	3



児童公園壁画の保護クリヤー

塗料性状

項 目	内 容			
硬 化 剤 種 類	ケシゾー 硬化剤			
混 合 比	主剤：硬化剤=5：1			
色	クリヤー			
密 度 (g/cm ³ 、20℃)	0.97		1.05	
加 熱 残 分 (%)	30		70	
引 火 点 (℃)	主 剤	22		硬 化 剤
発 火 点 (℃)		344		
労安法による有害物質表示	酢酸ブチル	30~40%	酢酸ブチル	20~30%
消 防 法 危 険 物 区 分	第四種第二石油類			
有 機 溶 剤 中 毒 予 防 規 則 区 分	第二種有機溶剤等			

塗装仕様 (モルタル・コンクリート面)

透明仕上げ

工 程	塗料名	混合比 (質量比)	塗装方法	塗付量 (kg/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	被塗面素地は充分 (含水10%以下、PH10以下) に乾燥させる。 素地面のレイトンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、補修修復処理を行う。					
下 塗 り	スィヨウカチオン シーラーW	—	はけ・ ローラー塗り	0.12	7~12	2時間以上 10日以内
上 塗 り	ケシゾー	主 剤 5 硬化剤 1	はけ・ ローラー塗り	0.12	20~25	

着色仕上げ

工 程	塗料名	混合比 (質量比)	塗装方法	塗付量 (kg/m ²)	乾燥膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	被塗面素地は充分 (含水10%以下、PH10以下) に乾燥させる。 素地面のレイトンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、補修修復処理を行う。					
下 塗 り	ウレオールRIM Mシーラー	—	はけ・ ローラー塗り	0.12	10~15	2時間以上 10日以内
中 塗 り 1 回 目	ウレオール300 (各色) ※	主 剤 10 硬化剤 1	はけ・ ローラー塗り	0.12	20~25	4時間以上 15日以内
中 塗 り 2 回 目	ウレオール300 (各色) ※	主 剤 10 硬化剤 1	はけ・ ローラー塗り	0.12	20~25	4時間以上 15日以内
上 塗 り	ケシゾー	主 剤 5 硬化剤 1	はけ・ ローラー塗り	0.12	20~25	

※ ウレオール300の希釈にはウレオール用シンナーをご使用ください。希釈率 (質量%) 10~20%

塗膜性能

項 目	試 験 方 法	性 能
鏡 面 光 沢 度	60度鏡面光沢度	90
鉛 筆 引 っ か き 値	鉛筆引っかき試験機 (破れ法)	2H
付 着 性	2mm格子碁盤目テープ法	100/100
耐 酸 性	5%硫酸溶液 20℃ 24時間浸漬	異常なし
耐 アルカリ性	5%水酸化ナトリウム溶液 20℃ 24時間浸漬	異常なし
耐 水 性	水道水40℃ 120時間浸漬	異常なし
耐 候 性	サンシャインウエザオメーター 2000時間	変色がほとんどない 光沢保持率90%
試験片	4×70×150mmフレキ板に下記仕様にて、スプレー塗装して試験片を作成した。 下塗：ウレオールRIM Mシーラー 0.12kg/m ² 25℃ 2時間放置 中塗：ウレオール300 白 0.12kg/m ² ×2回 25℃ 4時間放置 上塗：ケシゾー 0.12kg/m ² 25℃ 7日間放置	

乾燥時間

塗料のポットライフ	4時間以内 (20℃)	
乾燥時間	指 触	15分 (20℃)
	半硬化	90分 (20℃)
	焼 付	70~120℃×30分~15分

取り扱いおよび保管上の注意

1. 塗料は十分に攪拌して均一にし、所定の混合比率（質量比）で調合し再度よく攪拌してご使用ください。
2. 硬化剤を混入したものは、ポットライフ内に使い切ってください。
3. 硬化剤は水分と反応しますので使用時以外は密封して冷暗所に保管し、水分の混入は絶対に避けてください。特に梅雨時等多湿の場合は注意してください。
4. 硬化した塗膜はなかなか溶剤等で取れませんので、容器・塗装用具等は乾燥前によく洗浄してください。
5. 取扱い作業は、火気のないところで行い、屋内作業場所では局所排気装置を設けてください。
6. 塗装中、作業中ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
7. 取り扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクをつけ、更に頭巾、保護めがね、えり巻きタオル、保護手袋等をしてください。
8. 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
9. 作業着等に付着した場合は、その汚れをよく落としてください。
10. よくフタをし、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所に保管してください。
11. 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
12. シンナー遊び、汚れ落とし等本来の目的以外には使用しないでください。
13. 缶の持ち運びの際には手環はグリップ部を正しく持ち、垂直に持ち上げるように取り扱ってください。
14. 容器を切って使用する場合は、手を切る恐れがありますので、保護手袋等を使用してください。


緊急時及び応急処置

1. 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後に処理してください。又、容器等に付着した塗料はウエス等で拭き取り、廃棄してください。
2. 皮膚に付着した場合は、ただちに多量の石けん水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
3. 蒸気・ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
4. 目に入った場合は、多量の水で洗い、又誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 火災時には、炭酸ガス・泡・又は粉末消火器を用いてください。

廃棄上の注意

1. 廃塗料・塗料カス・廃溶剤・容器等の廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の定めに基づいた処理業者に委託してください。

特約店

 Man Tech & Future
川上塗料株式会社

本 社:〒661-0001 尼崎市塚口本町2丁目41番1号 TEL.06-6421-6325(代)
東京支店:〒132-0025 東京都江戸川区松江1丁目3番15号 TEL.03-5661-1501(代)
営業所/電話番号 仙 台 /022-276-9050 金 沢 /076-231-1907
北日本 /024-959-4777(代) 大 阪 /06-6421-6363(代)
東 京 /03-5661-1501(代) 広 島 /082-293-6868(代)
浜 松 /053-452-8850(代) 九 州 /092-541-3461(代)
名古屋 /052-501-8211(代)

ホームページアドレス <http://www.kawakami-paint.co.jp/>